

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	テンパー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.041	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：フェニックス・ニューブリッド

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

箱出し状態

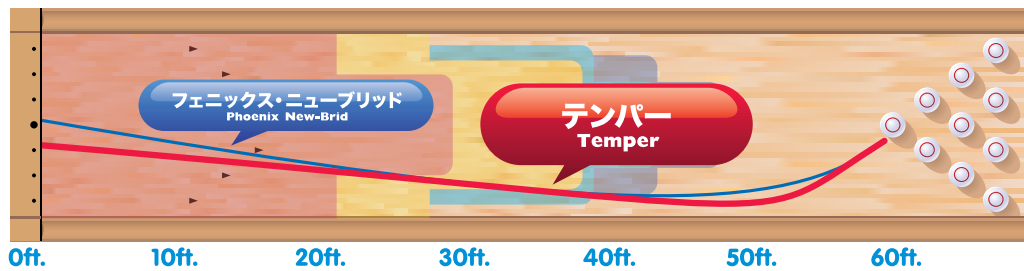
加工

ペーパー

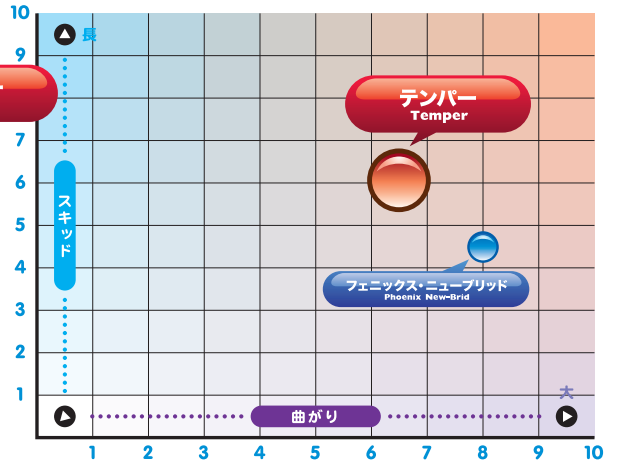
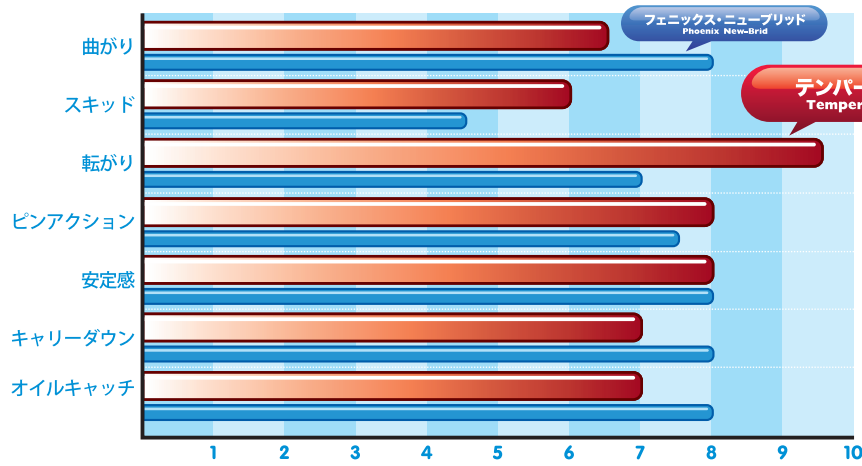
ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil	バックエンドリアクション	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle	レンジス	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll
------------	-----------	-----------------	------------	-----------------	-----------	--------------	--------	---------------	-----	--------------	-------------	------	------------	--------------	----------	-------------	-----------

ボールの評価

日本の市場でもセンセーショナルをもたらしたキネティック発売から約1ヶ月で、トラックの最新作テンパーの発売です。MP Gen1 リアクティブというトラックで走りと切れをもたらすカバーストックに「Legion」というマスバイアスコアとの組み合わせです。投球したイメージでまず第一に感じたのは転がりの良さ。転がると言われているボールさえ凌駕するほどの転がりの良さは、「自分のボールは転がる」と思ってしまうほど抜群です。表面仕上げは2000番アブラロン加工にポリッシュ仕上げで、スキッド感はやや長めに感じますが、「Legion」コアの影響かスキッドの中にも緩やかに曲がり始めを感じます。そしてバックエンドでフリップなイメージで切れるボールです。対応コンディションはミディアムが中心になるでしょう。ピンアクションの当たりも柔らかく、薄目のピンアクションもかき回すような倒れ方もよく見られました。驚きなのは、これほどのスペックながら価格帯がミッドプライスであること。信じられません。このスペックならば前回発売されたキネティック同様、プロトーナメントやアマチュアの大会等でこのテンパーは使用頻度が高くなること予想されます。

ABS発売のミッドプライス級のボールの性能は今や、ハイプライスと同様かそれ以上のボールが増えてきています。その性能をこのテンパーでお確かめください。

特記事項

抜群の転がり感と価格帯。ピンアクションは柔らかく、薄目のアクションを期待できるボールです。